科名：「江戸時代にタイムスリップ」

テーマ名　校外学習「落語家と行くなにわ探検クルーズ」
実施日　　7月5日

「ユニバーサルシティポート」を10時に出発し、安治川～堂島川～大川～土佐堀川～木津川を巡り、「タグボート大正」に着く90分のコースです。
私たちの乗った船は黄色いタグボート(ぺちゃんこ舟)でした。
低い橋をくぐるため客室を上下させる必要があり、そのために川の水を40t取り込むそうです。
案内人の落語家、桂きん太郎さんは、船から見える景色を歴史や落語を通して話してくれました。
朝日放送のビルは、昔、中津藩蔵屋敷があった場所で、福沢諭吉の生誕地でもあります。
また、当時の橋は庶民が夕涼みをする場所で、船上の人をからかった落語を一席していただきました。
大阪市中央公会堂は、一市民の寄付で建てられ今の50億円掛かったそうです。
大阪市の市章「澪標（みおつくし）」は、浮世絵にも描かれている水路標識から採用されました。
玉江橋から四天王寺の五重塔が見える浮世絵も見せてもらいました。
そんなこんな丁寧なお話を聞き30近い橋の下を巡る楽しいクルージングでした。

タグボート

この低い橋の下を抜けます

澪標の説明を聞く